

「日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス 2015」 を開催しました

家庭の理由などで外国から学齢期に来日した子どもたちは、日本語での学習が十分身についていない状況で、高校受検という高い壁にぶつかります。そのような子どもたちの高校進学を支援するため、今年度も高校進学ガイダンスを開催しました。

会場には、中国、フィリピン、ペルーなど11か国の子どもや保護者94人が集まり、外国人特別選抜を実施している高校や、日本で受検資格を得るための資格認定の説明などを、熱心に聞いていました。

また、参加者が説明を理解したり、相談したいことを十分に話せるように支援するため、日本語支援者等10名と、通訳20名がボランティアとして参加してくれました。

ガイダンスで配布した資料は協会ホームページに掲載していますので、ぜひ学校等でご活用ください。相談窓口など、関係機関の問合せ先も記載しています。

http://www.sial.jp/foreign/_guidance/ (HP)

■ 実施日：平成27年9月19日(土) 13:30～16:30

■ 会 場：ソニックシティビル 4階市民ホール (JR大宮駅西口)

■ スケジュール：

時間	内容	担当
【オリエンテーション】		司会 (県国際交流協会)
13:30～13:40	開会あいさつ	埼玉県国際交流協会 理事長 椎木 隆夫
13:40～14:00	高校進学について	県教育局高校教育指導課 渡部 剛
14:00～14:20	高校に進学した先輩と 保護者の体験談	陳 世豪 (県立岩槻高校2年) 橋本 彩香 (ペルー出身) 中林 亜芹 (中国出身)
14:20～14:30	相談コーナーの御案内	司会 (県国際交流協会)
【相談コーナー】		
14:40～16:30	相談ブースでの個別相談	

■ 主 催：埼玉県国際課、(公財)埼玉県国際交流協会、(公財)埼玉県産業文化センター

■ 後 援：埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会

■ 参加費：無料

■ 参加者：94人

<内訳>

○児童生徒 41人

(中学生、母国で中学校を卒業してから日本に来た人、日本でも母国でも中学校を卒業していない人など。親だけが来たケースも含む)

〔 出身国 中国、フィリピン、ペルー、ブラジル、アメリカ、タイ、ネパール、
コロンビア、韓国、イラン、アフガニスタン (日本を除いて11か国) 〕

○保護者などの随行者 47人

○その他の参加者(学校の教員など) 6人

■ スタッフ：59人 ※国際課と協会を除く

<内訳> 運営スタッフ 10人

通訳 20人 (県教育局国際交流員3人含む)

高校生 4人 (体験談発表者1人、高校生ブースのみ参加3人)

保護者 2人 (体験談発表者)

高校の教職員 17人

県教育局高校教育指導課 1人

県教育局県立学校人事課 1人 (資格認定の説明)

県教育局財務課 2人 (奨学金の説明)

県教育局義務教育指導課 1人

県教育局義務教育指導課帰国児童生徒等支援アドバイザー 1人

■ 会場の様子



会場全体の様子



資料コーナー



言語別ブース（英語）



言語別ブース（中国語）



言語別ブース（やさしい日本語）



教育局渡部先生から受検について説明



高校生の体験談



保護者の体験談



各ブースの紹介



総合相談ブース



日本語教室ブース



高校生活ブース



小中学校の教育相談ブース



資格認定ブース



高校ブース（狭山緑陽高校）



高校ブース（岩槻高校）